

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立日高高等学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が的確に示された学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、生徒・保護者・地域などの期待に十分応えるものとなっている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。やや網羅的な目標となっているので、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	中間での進捗確認のため、新たに「拡大学校評価運営委員会」を開いて進捗報告を行うなど、学校自己評価のための組織体制を整えている。昨年度に比べてシステムシートが整理されたが、分掌・学年等との連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	生徒の基礎学力及び人間関係力の向上を図るための「社会貢献活動」など、様々な方策が実施され、具体的な成果も上がってきている。方策の評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、企画委員会が適切に機能しており、教職員のチームワークを引き出しながら、全体で組織的な優れた取組を展開している。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	次年度への課題と改善策を踏まえて、評価項目の設定が行われている。新たな課題や改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して、次年度の評価項目や方策の見直しを積極的に進めていただきたい。
特記事項		